
電車痴漢マナー

ガム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電車痴漢マナー

【Zコード】

N1240A

【作者名】

ガム

【あらすじ】

大学生兼私立探偵の麻生士郎はある依頼でネメシスが開催する闇のオークションに潜入することになった

(前書き)

自分でもなんでこんなの執筆したのかわかりません

俺は麻生土郎、職業・・・痴漢ではなく大学生兼私立探偵。

今日はある闇のオークションに潜入することとなつた。オークションの内容はこうだ

有限会社ネメシスが主催する「痴漢を成功させやすくする道具発表会」・・・

つまり世間で認知されていないような科学力をフルに使って痴漢行為を成功しやすくする道具を密売しているのだ。そんな危ない道具を世間一般に流通させるわけには行かない

オークションはある武道館の地下で行われているといつ・・・そして俺は競売場にたどり着いた

もつすでに競売は始まつていて物凄い変態のオーラが悶々と伝わってくる

「えーそれでは次の競売品はなんと北條学園のアイドル的存在「美里蒼」ちゃんが利用している鉄道とその時間帯、行動パターンやらゆるデータを事細かに記してあるこのマル秘手帳!-!」

さわざわ

会場の空気がいつぺんに変わった・・・それもそうだ美里蒼ちゃん

んなら俺も知つていい。あのこはそこのアイドルより可愛いと俺は思う。幼い顔なのにスタイルは抜群で純真で非の打ち所がない性格をしている。そんな子をこいつら（変態）の毒牙にかけてしまうわけにはいかない

「これさえあればもう蒼ちゃんは落ちたも同然だ！！五万円から競売スタート！！」

「15万！！」

俺はすぐに声を上げた。躊躇なんとしているやうではない、多めに持つておいた財布の中身全部搾り出してでもこれは俺が保守しなければならない

「20万つつ！！」

何つ！？20万！クソつ！！

「22万！！」

俺はすかさず声を上げた。さすがにこれだけ出せば・・・

「50万出せず・グハグハグハ

会場中がざわめく・・・なんてつたつて50万も出す奴がいるのだ。しかもこのグハグハ笑いは知っている。全国で指名手配されている凄腕の痴漢「丸井丸男」、通称「疾風のマルさん」、なんでも痴漢

行為する手が素早過ぎてやられた相手も風が通つたようにしか感じないといつ。アイツ最近姿を現さないと思っていたがこんなところにいるとは・・・しかも顔も隠さずに居るとは・・・。アイツだけには絶対蒼ちゃんの手帳を渡せない。これはもう財布の中身関係なしにどんどん値段吊り上げてやる、どうせ非合法の競売だし金を請求されても無視すればいい

「70万！！」

会場中からオオッという声が上がる。やつはもう手も足も出ないだ
けり

「95万！！グハグハグハ」

「こいつやりやがる・・・。

こうして競りはヒートアップしていき俺もどんどんテンションがあがっていく。最後には542万円で落札に成功した、どうせそんな大金ないが・・。ってかなんで俺痴漢どもと一緒にこんなハイテンションになつてんだ？なんか急に恥ずかしくなつてきた

「さーいよいよ最後の競売です。これは今年の大目玉！！通称「天使の輪」です。みなさんもご存知の通り我々の体内には血液の他に「モミタイ液」というのが流れています。この「モミタイ液」は名前道理なにかを揉みたいときに濃度が増す液体です。この「モミ

「タイ液」が通常の5倍の濃度に達したとき天使の輪を頭に被るのです。すると不思議なことに使用者はなんと完璧に姿を消すことができます。されど何でもし放題!!つかまる心配は一切ありません!!6倍以上の濃度によっては他の能力も出ます!!。2000万から競売スタート!!!」

「おいおい・・・モミタイ液ってなんだよ・・・、そんな不得体の知れぬーモン俺の体には流れでねーよ。しかしあんな小さな輪を被るだけで姿を消せるとしたらこれはやばいな・・・痴漢行為ならまだしも軍事利用されたら大変なことになりそうだ。俺はすぐに声を上げることにした。

「8000万」

まあ様子見だ・・・今までの傾向を見るとここは結構な金持ちが集まっている。これ以上は普通に出していくんだろう・・・ここ

の変態は世間の変態とレベルが違つ。まさにヒ級変態だ。

「・・・・・・」

ざわざわ

ざわざわ

しかしおかしい。一向にだれも競売に参加しない。そこで俺は近くでなにやら会話している痴漢どもの話を盗み聴きすることにした。

「モミタイ液の濃度が5倍? そんなの学術的に見てもむりだつツー。つまんねーモン開発してんじやねーよー!」

「おいおい天使の輪だつてよ。あんなのいらねえよな。あれ使つたらスリルが半減だぜ全くよ・・・」

「ホントだよ。全然楽しみ分かつてねーよ。だいたいあんなの使って痴漢行為したら本当に外道の中の外道じやねーか。俺らを変態扱いしてねーか?」

「俺らだつてそこまで墮ちる訳にはいかねーんだよ。あの輪は完璧に痴漢界のマナー違反じゃねーか。俺らにだつてなマナーはあんだけよー！やつてくれるぜネメシスさんよつー！しかしあんなのに8000万出す奴が居るとはな。ほんとことんでもない変態だぜ・・・・・

俺らは変態じやない？痴漢界のマナー違反？買う奴はとんでもない
変態？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

前らもう十分に超変態だつての！！痴漢界のマナー守る前に世間のマナー守れつて！！しかも俺だつてこんなドラ もんも持つてないような変態道具いらねーんだよつつつつ…………。まさか変態に変態扱いされるとは……最大の屈辱だ。

「では・・・・そこの8000万人が落札ということで・・・なんかさめちゃいましたね、ハハ。これで今回の競売は終了ですが皆さんにいいお知らせがあります。なんと今回はサービスで超能力が得られる特殊な飴「デビルボウル」を皆さんに差し上げましよう。試作段階なのでもちろんただ！！しかも何個でもお持ち帰り可能です！！ああどんどん持つて帰つてください…！」

美里蒼ちゃんの手帳以外あまり興味はないが一応証拠品としてあの輪と飴ももらつておこう。

とりあえず知人に情報を伝えることにする。特殊な携帯電話なので地下でも平気だ

「あー長沼さん。俺俺士郎だけさすぐに俺が居る武道館にB+ぐらいの特殊人員派遣してくれないかな？10人ぐらいでいいから・・・・ああいいよそんぐらいでもともと全員捕まえるつもりないし、各界の大物が結構居たからな、一気に捕まえたら日本が目茶苦茶になつちまうよ・・・まあそれが現実さ。俺もう疲れちまつてさホント変態のレベルが違うんだよこの奴らは・・・・あ、あと丸井丸男が居たからアイツは確実に捕まえといてくれ、一応発信機は付けといたから、奴ら痴漢行為以外に逃げるのだけはつまいからなあ・・・・じゃよろしく」

知り合いに連絡をとつて後始末を任せた。もう疲れたから早く帰つ

て寝よ・・・。あーレポート考えるの面倒くせー

会場を出るとさ、「料金を支払ってください」とて言つてくる奴らと
一波乱あつたが全員ぶつ飛ばしてその場を立ち去つた。それにして
も変な道具手に入れちまつて・・・ホント今日は精神的に大変だっ
たな・・・

だが俺はその時気がつかなかつた・・・。本当に大変なのはこれから
ら一週間たつたあの日からだと・・・。

(後書き)

ここまで読んでくれた方ありがとうございます。一応感想くれると嬉しいです。出来上がってみると結構気に入ったので人気が出れば続編があるかも知れません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1240a/>

電車痴漢マナー

2010年10月11日17時25分発行